

空中写真測量に関する次の記述A～Cの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- A. 撮影時の現地の状況を再現でき、異なる日時の写真を比較することで変化の状況を調べることができる。
- B. 樹木の写真判読が困難なため、森林調査では空中写真測量を利用することができない。
- C. 高い建物や樹木などによっては死角ができることもある。

- | | A | B | C |
|----|---|---|---|
| 1. | 正 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 正 | 誤 | 誤 |
| 4. | 誤 | 正 | 正 |
| 5. | 誤 | 正 | 誤 |

水食の仕組みと因子に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

細流浸食を放置したところ、畑の畝間、くぼみなどに雨水などの流出水が集まり、次第にそこを削って、耕作の支障となる大きな溝に発達する現象を という。

水食は、一般に土地の傾斜が急になるほど、地表流出水の流れる斜面長が ほど、浸食はひどくなる。また、土層の浸透能も水食の程度に影響し、浸透能の小さい土層では、降雨が地中に浸透しにくく、地表流が発生するため、水食が 。

- | A | B | C |
|---|----|--------|
| 1. 面状浸食 | 短い | 起こりにくい |
| 2. 面状浸食 | 短い | 起こりやすい |
| 3. 面状浸食 | 長い | 起こりにくい |
| 4. ガリ浸食 | 短い | 起こりにくい |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. ガリ浸食 | 長い | 起こりやすい |